

令和4年度 学校評価アンケート（地域）の結果及び考察について

1 結果報告

- (1) アンケートの実施日 令和4年7月30日 9月10日（土）
- (2) アンケート対象者 八王子市宮上地区 青少年対策委員総会参加者
- (3) 調査人数 3年度25名 4年度31名
- (4) 回答率 3年度100%(25名) 4年度100%(31名)
- (5) 集計結果 別紙参照

2 令和3年度のアンケート結果との比較、分析及び考察

(1) 比較

- Q1「南大沢学園の場所」、Q2「特別支援学校であることを知っている」では、「はい」が増加している。
- Q3「来校したことがあるか」では、「いいえ」が増加している。
- Q4「地域に貢献できる活動」、Q5「開かれた学校づくり」、Q6「生徒の近隣での生活態度」、Q7「ホームページ閲覧」では、「分からない」が増えている。
- Q4「地域に貢献できる活動」、Q5「開かれた学校づくり」、Q6「生徒の近隣での生活態度」では、「大いに思う」「しっかりできている」が増加している。

(2) 分析及び考察

- コロナ禍において、本校への来校（café ひまわり、学園祭、学校公開等）や地域での活動（京王バスの清掃、近隣郵便局や公園での菓子販売等）を再開できない状況がアンケート結果に影響したと考えられる。
- 一方、公共のマナーなどの生活指導や感染症対策を徹底した南大沢駅前や近隣公園の花壇整備を継続している点については、一定の評価をいただけたと考えられる。
- 11月からは、近隣公園での菓子販売や青少対地域行事への参加を再開する予定である。café ひまわりの再開準備も進んでいる。地域関係者との関わりは、生徒の成長や卒業後の職業生活の基盤にもなる貴重な経験である。感染状況を見極めながら、校外での教育活動を実施していく。